

診療科
呼吸器内科

疾患名
肺癌(非小細胞肺癌)

レジメ名
維持1C イミフィンジ+イジユド+PEM療法

投与間隔
1コース
8 週間
計 1
コース

商品名	一般名	略号	投与量		投与方法	投与時間		投与日					
				単位			単位	day1	day29	day	day	day	day
イミフィンジ	デュルバルマブ		1500	mg/body	点滴静注	1	時間	●	●				
イジユド	トレメリムマブ		75	mg/body	点滴静注	1	時間		●				
ペメトレキシド	ペメトレキシド		500	mg/m ²	点滴静注	10	分	●	●				

備考(実施手順、使用器具、予測される副作用とその対応、休薬・減量・中止基準、患者への注意事項等)

- ・副作用としては、間質性肺炎、肝機能障害、大腸炎・下痢、消化管穿孔、甲状腺機能異常、腎機能障害、筋炎、心筋炎、重症筋無力症、脳炎、神経障害、皮膚障害、infusion reactionなどの免疫関連有害事象が予測され、適切なモニタリングと治療が必要である。
- ・ペメトレキシド投与7日以上前から、1日1回、総合ビタミン剤1g(葉酸0.5mg含有、当院ではパンビタン)を連日投与。
パンビタンはペメトレキシド投与中止後、最終投与日から22日目まで可能な限り投与継続。
- ・ペメトレキシド初回投与7日以上前にシアノコバラミン1000 μ gを筋肉内投与。その後約9週毎に反復投与。
シアノコバラミンはペメトレキシドの投与中止後も、同じ投与方法で本剤の最終投与日から22日目まで可能な限り投与。
- ・day1、29にグラニセトロン注3mg使用

登録年月日
2023 年 6 月 7 日

登録No.
534